小田 久美子 議員

平成30年7月豪雨

Q 防災ブックを作成し無償配布しては

A 内容や形態を検討する

質問（議員） いつ発生するか分からない災害に備え、女性の視点を活かし、誰が見ても分かる防災ブックを作成し、無償配布しては。

答弁（町長） 現在、土砂災害ハザードマップを住民参加型で作成しているが、総合的な防災パンフレットはない。

女性の視点も含め、内容や形態が活用し易いものなどを検討する。

Q こども議会の対応は

質問（議員） 今年度は中止したが、残念がっているこども議員に対しての配慮は。

答弁（学校教育課長） 災害発生までに事前学習を行い、一般質問を作成していくが、議場での開催は困難である。努力に応えられるよう「こども議員になって良かった」と思える対応を検討する。

寸断された三迫３丁目内道路

崎本 広美 議員

平成30年7月豪雨

Q 2次災害防止に向けての計画案は

順次本復旧工事に着手している

A 優先順位を定めて応急復旧工事を進めている

質問（議員） 災害現場において台風シーズンを迎えるにあたり、2次災害防止及び復興へ向けての計画案は。

答弁（町長） 2次災害防止については河川や道路など、施設の被災状況や重要度などバランスを考慮し、優先順位を定めて応急復旧工事を実施している。復興については、今年度末までに国土交通省及び財務省の災害査定を経て国庫補助額の確定を行い、今年度末から順次本復旧工事に着手していく。

質問（議員） 砂防ダムを含め、要望活動を速やかに行い、早期着手を進める必要があるのでは。

答弁（建設部長） 砂防施設管理者である広島県と連携を図り、できる限り早期の工事完了を目指していく。

見易いものを早く作って

大江 康子 議員

ひまわりプラザ

Q 飲食の時間拡大を

A 考えていない

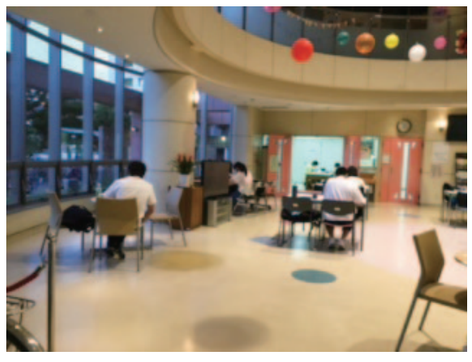
質問（議員） 1階のロビーで勉強をしている学生が、夕方、飲食を暗い外のベンチでとっている。館内で飲食できるようにしてはどうか。

答弁（町長） 軽食をとって勉強する場合、長時間にわたる席の占有となることが想定され、来館する方に広く利用していただけない可能性が出てくる。小中学生の利用時間帯と重なるため、児童育成の点も踏まえ時間を設けることは考えていない。

Q 平成30年7月豪雨二次災害予防対策は

質問（議員） 二次災害予防対策は。

答弁（町長） ワイヤーセンサーの設置、砂防ダムの浚渫などの対策を県と連携して行う。また、土砂災害地域では早めの避難の呼びかけや土嚢の集積場所の周知を図る。



勉強中でもお腹が減るんだよなー！

岡田 良訓 議員

平成30年7月豪雨

Q 砂防ダムに堆積した土砂の撤去計画は

A 県で優先順位を定めて撤去に着手

質問（議員） 砂防ダムに流入した大量の土砂を早急に撤去・搬出しなければ、台風などの降雨で再び砂防ダムを越水することが想定される。流入した土砂の撤去・搬出計画と河川の復旧は、どのような計画になっているのか。

答弁（町長） 県で土砂の堆積状況を調査して、優先順位を定めて土砂の撤去に着手している。河川は被災原因を県と連携して調査し対策などを検討する。

Q 水道事業の広域連携参加は

A 有益な事柄は連携を検討

質問（議員） 参加せず、町独自の水道を守るべきではないか。

答弁（町長） 災害時の相互応援や人材の育成などについて、県や近隣市町との連携を検討していく。

越水した奥の谷川の砂防ダム

その他の質問

●小中学校のエアコン使用基準は